

# めぶきアセアンレポート

## MEBUKI ASEAN REPORT

2018年 11月号

- ◇ 【 シンガポール通信 】～Food Japan 2018 開催について～ . . . . . P. 1
- ◇ 【 フィリピン通信 】～ニュー・クラーク・シティと首都機能移転構想～ . . . . . P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 . . . . . P. 5
- ◇ 【 アセアン各国株式市場・為替情報 】2018年10月の動き . . . . . P. 7
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 . . . . . P. 8
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】2018年10月～2019年1月 . . . . . P. 9
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】 . . . . . P. 10

常陽銀行シンガポール駐在員事務所  
63 Market Street #11-03  
Bank of Singapore Centre,  
Singapore 048942  
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所  
5th Floor, Sun Red River,  
23 Phan Chu Trinh Street,  
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam  
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所  
689, Bhiraj Tower at EmQuartier,  
27th Floor, Room No.2714,  
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,  
Bangkok 10110, Thailand  
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

発行元：常陽銀行市場国際部



## シンガポール通信 ～ Food Japan 2018 開催について ～

今回は10月25日から27日にシンガポールで開催された「Food Japan 2018」についてレポートします。

## 1. Food Japan 2018 について

## (1) 概要

Food Japan は、2012年から毎年開催されているASEAN最大級の日本食に特化した見本市です。今年で7回目を迎えました。会場となるマリーナベイエリアにあるコンベンションホールは、シンガポールの中心街に近く、法人・個人問わず多くの集客が見込めます。

出展ブースには、農林水産品、加工食品・飲料、食品素材のほか、食器・伝統工芸品、調理器具、食品機械、店舗設備など、食に関する幅広い商品が揃いました。一方来場者は、インポーターやディストリビューター、商品開発者(食品メーカー)や百貨店・スーパーなどの小売業者、レストランやホテル関係者などです。シンガポールのみならず、香港やマレーシアなどから来場される業者もいます。

最終日(土曜日)には、一般来場も可能となっており、BtoBに限らず、エンドユーザーをターゲットとしたダイレクトマーケティングの場としても活用されています。今年も最終日は、一般来場者で会場は賑わいを見せていました。

会期	2018年10月25日(木)～27日(土)の3日間
会場	Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre
主催	Food Japan 実行委員会 (OJ Events Pte Ltd)
後援	農林水産省 (MAFF)、日本貿易振興機構 (JETRO)、国土交通省観光庁 (JTA)、日本アセアンセンター、在シンガポール日本国大使館、シンガポール政府観光局、他
協力銀行	めぶき FG の常陽銀行、足利銀行を含む 17 行の金融機関

## (2) 出展状況

今年は、日系企業を中心に211社(前年比▲72社)が出展し、3日間の来場者数は11,212人となりました(主催者発表)。今回は初出展の企業が全体の3割を超え、海外展開においてシンガポールを重要な市場と位置付ける企業が増えていることも伺えます。

茨城県は個別のブースを構え、県内企業10社が出展しました。展示品は、日本酒、納豆、ほしいも、水産加工品など、茨城県を代表する商品です。そのなかでも、シンガポールでは馴染みのない商品(タコやシシャモなど)や他の出展ブースにはない独自の商材を使った商品(アーモンドミルクや和栗ペーストなど)が、反響が大きかった印象を受けました。

なお、会場には商談ブースも設置され、当日でも商談が可能です。また、事前申込による通訳の手配も可能です。

## 【茨城県のブースの様子】





### (3) 出展企業の課題

本イベントは、来場者が多く、不特定多数の方に商品を見てもらうのには適しています。一方で、商品を気に入って頂きながら、「ディストリビューターがない」、「価格提示ができない」といった出展企業もありました。密度の高い交渉を進め、ビジネスチャンスを掴むためにも十分な事前準備が必要です。また、日本酒などの出展社数が多い商品は、他社との違いが判り難く、独自の工夫も必要です。こうした課題に対しては、個別の商談会を活用することも有効です。

## 2. もう一つの商談会

Food Japan に先立つ 23 日と 24 日に、茨城県の食品・ものづくり海外展開チャレンジ事業のシンガポール食品商談会が行われました。商談会は、Food Japan と同じくマリーナベイエリアのレストランの一室で、現地のバイヤー、レストラン、小売業者などを招いて行われました。事前に商品の内容や来訪業者の内容がわかるため、より効果的な商談が出来たのではないかと感じています。

また、単なる商品の展示ではなく、会場レストランのシェフによるアレンジ料理も提供されました。商品の活用イメージを持っていただき、輸入者側でも販売戦略のイメージを立てやすくしました。

【商談会の様子】



【商品の展示】



## 3. おわりに

めぶきフィナンシャルグループは、地元自治体などとの連携により、お客様の輸出支援にも取り組んでおります。詳細につきましては、最寄りの支店または国際業務室までお問い合わせください。

以上

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

## フィリピン通信～ニュー・クラーク・シティと首都機能移転構想～

今回は、ニュー・クラーク・シティと首都機能移転構想についてレポートします。

### 1. ニュー・クラーク・シティとは

首都マニラから北に約 120km 離れたタルラック州では、現在ニュー・クラーク・シティの開発が進められています。本開発では、同地区に政府機関を集約した中央政府センターの建設が予定されており、事実上の首都移転構想とされています。敷地面積は約 9,500ha あり、政府庁舎の他、オフィス街、住宅地などが開発される予定です。スマートグリッドや ICT による道路・交通管理などのインフラを備えた近代都市を目指し、現在工事が進められています。

### 2. ニュー・クラーク・シティのコンセプト

現在のマニラ首都圏（以下メトロマニラ）は 16 世紀末よりフィリピンの中心地であり、1,200 万人以上が暮らす人口過密地域です。財閥による私有地も多く、都市計画が進捗せず自然発生的に街が拡大してきました。このため一部の地域を除いて、交通インフラや区画整理が進んでおらず、慢性的な交通渋滞が問題となっています。メトロマニラでは、その他にも人口密集、大気汚染などの多くの問題を抱えており、都市機能の分散化が必要とされています。

#### 【マニラ市内の交通渋滞】



こうしたメトロマニラの現状を解決すべく、ニュー・クラーク・シティでは、首都機能移転候補地として以下 5 つの目標を掲げ都市開発が進められています。

1. 公共交通網や自転車専用レーンを整備することで交通渋滞を抑制する
2. 再生可能エネルギーで地域電力需要をまかなう
3. 洪水や地震などの災害リスクを低減する
4. 低価格住宅の提供により住民の多様性を確保する
5. 都市全体のエネルギー利用、交通、環境関連情報を統合管理し、サービス向上を図る

#### 【開発が始まったクラーク地区の様子】



### 3. 都市開発の全体像

クラーク地区は、もともと米軍のクラーク基地があった場所のため区画整理が進んでおり、他の地域に比べ開発が容易に行えるという利点があります。また、現在は政府系の BCDA（フィリピン共和国基地転換開発公社）が同地区を管理しており、複雑な地権の絡むマニラと比較し大規模な開発を行うことが可能です。

このような背景から同地区では、都市開発の他に周辺地域の各種交通インフラ整備も行う計画となっており、①新クラーク国際空港建設 ②マニラ～クラーク間高速鉄道建設 ③スービック港～クラーク間貨物鉄道建設なども予定されています。また工業団地の建設も予定されており、交通インフラが整備され、円滑な物流が可能となれば、製造業進出の有力な候補地になると言われています。

#### 【ニュー・クラーク・シティ開発の全体プロジェクト】



（出展：BCDA（フィリピン共和国基地転換開発公社）公表 IR より）

### 4. おわりに

首都移転構想は総額 140 億ドル（約 1 兆 5 千億円）の超大型プロジェクトであるため、全体の完成時期は不透明ですが、政府は 2022 年までに行政センターの建設完了を目指しています。

BCDA は、300ha～500ha の工業団地に自動車組み立て工場や半導体工場等の中軽工業を誘致したいと考えており、日系企業のフィリピン進出の候補地になる可能性も高いと言えます。引き続き本プロジェクトの動向を注視してまいります。

以上

【BDO ユニバンク マカティ駐在 松本 晃佳】

## アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を毎月発信します。



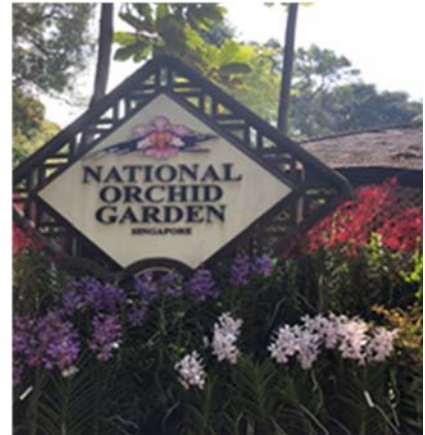
## 【シンガポール】～シンガポール初の世界遺産・ボタニックガーデン～

シンガポールボタニックガーデン(植物園)は、2015年にシンガポールで初の世界遺産に登録されました。東京ドーム約13個分の広大な敷地は、駐在員やローカル人にとって癒しの場となっています。

観光客に人気のオーキッドガーデン(ラン園)には、約6万株のランが集められており、世界最大規模の展示場となっております。世界のVIPにも人気があり、ここを訪れた故ダイアナ妃、雅子皇太子妃の名を冠した希少なランを鑑賞することができます。東南アジア等で育つショウガ目の植物が展示されたジンジャーガーデンも熱帯地方特有の鮮やかな花で彩られ、大変人気があります。シンガポールにお越しの際は、訪れてみてはいかがでしょうか。

(常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順)

## 【ボタニックガーデン内のラン園】



## 【ベトナム】～教師の日～

ベトナムでは、毎年11月20日が「教師の日」となっています。フランスで発足した「世界教育者組合連合」が11月20日を「教育者国際憲章の日」と定めたことが由来です。毎年、「教育者国際憲章の日」に教師に関する様々なイベントが行われていたことから、政府は1982年、正式に11月20日を「教師の日」と決めました。「教師の日」にはイベントが催され、生徒たちが教師に歌や踊りを披露したり、プレゼントを贈ったりします。プレゼントとして菓子類、化粧品、石鹸などの日用品が贈られます。ベトナムでは日頃から、「教えてもらえる」ということに対してみんなが感謝し、教師を尊敬していることから、教師の日はその「記念日」ではなく、「文化」として根付いているようです。

(常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グエン ティ トウイ)

## 【街で見かける教師の日の看板】





【タイ】～タイの行事「ロイクラトン」～

タイでは毎年 11 月下旬の満月の日に、ロイクラトンという行事が開催されます。バナナの葉や草花などで作った「灯籠 (=クラトン)」に火を灯して「川に流す (=ロイ)」ことで、水に感謝し、1 年の罪を流し、自らを清める行事となっています。ロイクラトンはタイ全土で開催されており、タイ北部のチェンマイなどでは、灯籠流しに加えて「コムローイ」と呼ばれる紙製の熱気球を飛ばす風習があります。コムローイの灯りで夜空一面が明るくなった景色は神秘的かつ幻想的な光景です。観光客でも体験することができますので、コムローイ上げに参加し、タイの伝統を感じてみてはいかがでしょうか。

【夜空に舞うコムローイ】



(足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平)



【インドネシア】～インドネシアの 100 円ショップ～

インドネシアには日本の 100 円ショップである「ダイソー」が進出しています。17 店舗を展開し、そのうち 8 店舗が首都ジャカルタに店舗を構えています。品揃えは店舗規模にもよりますが、ほぼ日本と変わらない水準の商品が販売されており、値段は 25,000 ルピア均一（約 200 円、1 ルピア=0.008 円で算出）と日本の 2 倍の価格設定となっています。ローカルの間では、「ダイソー=高品質」というイメージも先行しており、日本人駐在員の買い物客だけではなく、インドネシア人が商品を大量に購入する姿をよく見かけます。

【ダイソーの店舗内の様子】



(バンクネガラインドネシア ジャカルタ駐在 五津 徳昭)



【フィリピン】～日本のアパレル事情について～

フィリピンはスペインとアメリカの植民地であったことから、ファッションや音楽、食生活等の文化は欧米化されていますが、近年日本のファッション文化が人気となっています。特に日本のユニクロがハイエンドファッションとして人気を集めており、フィリピンでは 52 店舗も出店されています。10 月 5 日には、東南アジア最大の旗艦店をオープンしたことも、注目を集めております。

【ユニクロ旗艦店の様子】



常夏のフィリピンにもかかわらず、日本の冬服も沢山取り揃えており、実際にフィリピン人が購入している光景を見るのも面白いです。

(BDO ユニバンク マカティ駐在 松本 晃佳)

## アセアン各国株式市場・為替情報（10月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（10月）

国	株式市場				為替市場			
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート（円）	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	3,018.80	▲238.25	▲7.31%	1シンガポールドル	81.51	▲1.64	▲1.97%
マレーシア	KLCI総合指数	1,709.27	▲83.88	▲4.68%	1リンギット	27.04	▲0.40	▲1.47%
タイ	SET指数	1,669.09	▲87.32	▲4.97%	1バーツ	3.41	▲0.11	▲3.02%
フィリピン	フィリピン総合指数	7,140.29	▲136.53	▲1.88%	1ペソ	2.12	0.02	0.78%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	5,831.65	▲144.90	▲2.42%	100ルピア	0.74	▲0.02	▲2.65%
インド	SENSEX指数	34,442.05	▲1,785.09	▲4.93%	1ルピー	1.53	▲0.04	▲2.61%

出所：Bloomberg

## 【株式市場】

## ▶ シンガポール：米中貿易摩擦の激化懸念で1年10ヶ月ぶりの安値へ下落

シンガポール株価指数は下落基調で推移した。中国の景気減速懸念を背景にした香港株の下落やアジア通貨安を受けて投資家心理が軟化した。米中貿易摩擦の激化懸念により貿易依存度の高い同国が悪影響を受けるとの見方が広がり相場の重荷となった。シンガポール株価指数は、30日に約1年10ヶ月ぶりの安値をつけ、前月比▲7.31%で取引を終了した。

## ▶ マレーシア：鉄道計画の見直し、新税導入案示唆により大幅安

財務省によるMRT（大量高速交通システム）の未着工区間の再入札の発表や、通信マルチメディア委員会の通信料金引下げの公表により、関連企業の業績懸念が広がり大幅下落した。さらに、米金利上昇懸念や、首相が新税導入を示唆したことで下落幅が広がり、マレーシア株価指数は前月比▲4.68%で取引を終了した。

## ▶ タイ：世界的なリスクオフの影響を受け下落基調で推移

世界的なリスクオフのなか、中大型株主導で下落した。輸出・観光の好調によりGDPを上方修正したが、世界的なリスクオフの流れが強まり続落した。月末には、割安水準にまで下落したことから買いが膨らみ反発したものの、前月比▲4.97%で取引を終了した。

## ▶ フィリピン：当局による金融引き締め休止可能性の発言が相場下支え

中国経済の減速や人民元安への警戒感から、上旬は下落基調で推移。11日に年初来安値を更新したが、金融引き締めスタンスを休止する発言を受け反発した。下旬には、金融政策決定会合の要旨が発表され、高インフレが年末まで続く見通しが示されたことから、小幅な反発を繰り返した。フィリピン株価指数は、前月比▲1.88%で取引を終了した。

## ▶ インドネシア：投資家のリスク回避から調整基調で推移

ジャカルタ総合指数は、アジア大会の効果で小売売上が増加したことから一旦上昇したが、世界的株安を受けて大幅反落。シンガポールとの2国間協定を受け反発したが、小幅な上げ下げを繰り返した。下旬には、企業決算が市場予測を上回り反発。インドネシア株式指数は前月比▲2.42%で取引を終了した。

## ▶ インド：ルピー安・原油高・信用収縮問題懸念が残る

インドSENSEX指数は下落基調で推移し、年初来安値を更新。政府がノンバンクへの経営介入を発表し、信用収縮懸念が緩和したが、米長期金利の上昇やルピー安、原油高による経常赤字拡大懸念が広がり大幅下落。インドSENSEX指数は前月比▲4.93%で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】



## アセアン各国ニューストピックス

## ◎経済

- シンガポール
  - ・2回連続で金融引き締め実施 7～9月期GDPは2.6%増 (10/15)
  - ・会社外勤務、30年に548億Sドルの価値創出 (10/19)
  - ・都市総合力で世界5位、昨年から横ばい (10/23)
- マレーシア
  - ・株式市場、5月以来の下げ幅 新税案や世界経済の波乱を警戒 (10/12)
  - ・マレーシア、2024年に高所得国入り達成か (10/22)
  - ・外国人労働者の人頭税、来年に一律課金廃止 (10/26)
- タイ
  - ・来年はGDP成長が3.9%に減速 (10/8)
  - ・投資家信頼感、7カ月ぶりに楽観圏回復 (10/10)
  - ・高等教育・研究開発省の設立、閣議承認 (10/26)
- インドネシア
  - ・経営者協会、貿易決済通貨の多様化を提案 (10/9)
  - ・法人税優遇、規定改正から半年で7社に適用 (10/19)
  - ・最低賃金引き上げ率、実業界の懸念拡大 (10/26)
- フィリピン
  - ・外国投資規制の緩和法案、下院委が承認 (10/11)
  - ・ネットベースの輸入申告システム、全国導入 (10/18)
- ベトナム
  - ・新競争法、来年7月に施行へ 細則の公開が遅れれば混乱も (10/17)
  - ・ハノイの人口急増、17年に960万人突破 (10/31)

## ◎その他

- シンガポール
  - ・世界最長路線が再開、シンガポール—NY間 (10/15)
  - ・日本食見本市開幕、輸送支援の新サービス (10/26)
  - ・アルコール分0.5%超食品、酒規制法の対象外も (10/29)
- マレーシア
  - ・サイバー詐欺が増加、タスクフォース検討 (10/10)
  - ・納豆ブーム、粘り強く拡大 訪日旅行と健康志向が後押し (10/23)
- タイ
  - ・多様化する自販機市場に商機 スマート機能搭載、中古輸入増も (10/9)
  - ・前タイ国王死去2年で追悼、全土で行事 (10/16)
  - ・日本産の農産物・食品商談会、新鮮さPR (10/17)
- インドネシア
  - ・非ムスリムの政治参加に不満 大統領選、宗教戦略の重要性増す (10/3)
  - ・ライオンの最新鋭機が墜落 乗客乗員189人、全員絶望か (10/30)
- フィリピン
  - ・国内初の本格アウトレット、26日に開業 (10/15)
  - ・外食市場、今年は8%増の140億ドル超へ (10/31)
- ベトナム
  - ・HCM市で中級住宅が人気 若年層からの需要、今後も堅調 (10/9)
  - ・ハノイでF1開催か、市西部の公道で (10/16)
  - ・ベトジェット、年末年始に茨城チャーター便 (10/25)

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2018年11月

日	月	火	水	木	金	土
				1 PH	2 PH	3 JP
4	5	6 SG	7 ID	8	9 CD	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20 IN	21 MY ID	22 MM CD	23 MM ID JP CD	24
25	26	27	28	29	30 PH	

2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 MM	3	4	5 TH	6	7	8
9	10 TH	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 JP	24 PH	25 IN ID MM SG MY PH	26	27	28	29
30 PH	31					

2019年1月

日	月	火	水	木	金	土
		PH IN VN CD 1 MY TH JP SG	2	3	4 MM	5
6	7 CD	8	9	10	11	12
13	14 JP	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26 ID
27	28	29	30	31 CD		

※ナショナルホリデーのみ掲載  
※祝祭日名省略

出典：ジェットロ各国情報等

- JP 日本                      MY マレーシア                      TH タイ
- SG シンガポール                      PH フィリピン                      VN ベトナム
- IN インドネシア                      MM ミャンマー                      ID インド
- CD カンボジア

## めぶきFGアジアネットワーク

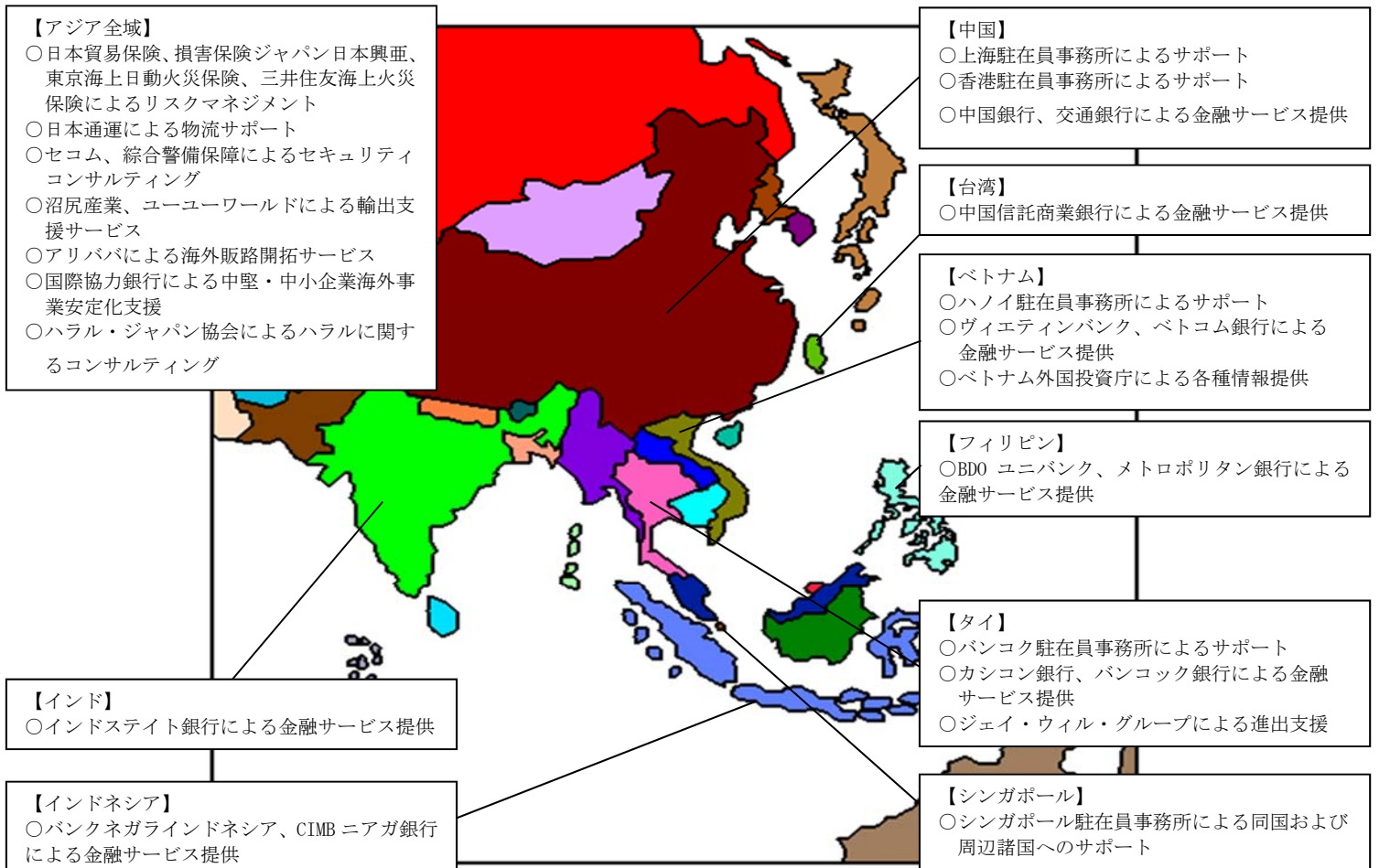
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

## ◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府 ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●		途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong <a href="tel:+852-2251-9475">TEL:+852-2251-9475</a>
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852



## めぶきFGイベント情報

## 【FBC 上海 2018 ものづくり商談会】

日 程	平成 30 年 11 月 19 日（月）～21 日（水）
開催国	中国
会 場	上海新国際博覧中心（上海市）
概 要	<p>「FBC 上海 2018 ものづくり商談会」は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする中国最大級の商談会で、360 社を超える出展企業が 3 日間にわたり自社製品等を PR します。</p> <p>出展対象は、自動化・ロボット、自動車関連、電子電機、環境・省エネ、機械設備など製造業全般となっています。</p> <p>出展企業の募集は終了しておりますが、ご来場をご希望される方は招待状をお渡ししますので、常陽銀行上海駐在員事務所（連絡先は表紙参照）までご連絡ください。</p>
URL	<a href="http://www.ecfna.com/fbcsh">www.ecfna.com/fbcsh</a>
照会先	<p>常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258</p> <p>常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730</p> <p>または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-5931-28</p>

## 【地銀合同セミナー・交流会@深圳 2018】

日 程	平成 30 年 12 月 7 日（金）
開催国	中国
会 場	深圳陽光ホテル（広東省深圳市）
概 要	<p>中国・香港に拠点を持つ日本の地方銀行が協力し、現地に進出されているお取引先企業を対象として開催するセミナー・交流会です。</p> <p>中国・香港に進出されている地方銀行のお取引先企業に最新のビジネス情報を提供するとともに、業種を越えた情報交換の場としてご活用いただけるものです。</p> <p>参加申込の締切は 11 月 9 日（金）となります。</p>
照会先	足利銀行 香港駐在員事務所 TEL +852-2251-9475